



松江

◆水と火の祭を住民楽しむ
松江市八雲町を流れる意宇川の治水工事に貢献した周藤彌兵衛の銅像が、同町に建立されて3年を迎えたことを記念した「水と火の祭」がこのほど、同町日吉の八雲町日吉親水公園であった。集まった町民約150人が、幻想的なかがり火のもとで、踊りや太鼓のステージを楽しんだ。

◆水と火の祭
「水と火の祭」は、財団法人・人間自然科学研究所を母体とする八雲志人館が主催し、今年で2回目。(平井優香)

くる「八雲なでしこ」の17人が、松江だんだん踊りを披露。写真。住民も踊りの輪に加わり、盛り上がりを見せた。このほか、神戸川太鼓(出雲市)が「七兵衛太鼓」など3曲を演奏し、来場者は力強い太鼓の音に聞き入った。

安来

◆「平和」
考えるコンサート

戦後、フィリピン
の日本人戦犯釈放に尽力した画家・加納莞菴(か
ららい)の命日にあたる
15日、莞菴ゆかりの市加
納美術館(安来市広瀬町
布部)に隣接する布部交
流センターでファミリー
コンサートがあり、家族
連れらが女性デュオの演
奏を楽しみながら平和や
家族について考えた。写
真。

終戦記念日でもあるこ
の日に、莞菴が求め続け
た「平和」や大切にした
「家族」についてあらた
めて考えてもらおうと同
館と同センターが開催。
家族連れら50人が参加し
た。

ともに浜田市在住のフ



ルート奏者・杉本さえみ
さんとバイオリン奏者・
中山ゆき子さんでつくる
「デュオ・アフエッティ」
が、クラシック音楽やア
ニメ映画の主題歌など12
曲を楽しく演奏。戦時中
の家族を題材に平和の尊
さを訴えるアニメの上映
もあった。安来高校3年、
角森有希さん(17)は「あ
らためて戦争を繰り返し
てはならないと感じた」と話した。(佐伯学)

